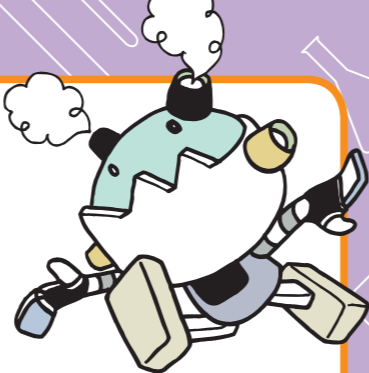


半紙に花もようを作ろう！

半紙と水を使って、水性ペンの色をわけて、いろいろな色の花もようを作ってみよう！

実験は必ず大人と一緒に行ってください。



法政大学 山崎友紀

準備するもの



実験方法

1 半紙に小さな穴をあける

7cm×7cmくらいに切った半紙を4つ折りにする

角を丸く切り、直径5mmくらいの穴をあける

直径5mmくらいの穴をあける

2 半紙に水性ペンで色をつける

紙の中心から1cmくらいのところに、水性ペンでいくつかの好きな色をつける

色をつけるときは、下に新聞紙をしきましょう

3 半紙のストローをとりつける

2cm×2cmくらいに切った半紙をまいてストローをつくる

そのストローを半紙の穴に通す

4 ストローの下側を水につける

しばらく放置すると、水が紙の中心から外側に向けてしみてくる。水と一っしょに、ペンの色も移動しながら広がり、いくつかの色に分かれていく

ペットボトルのキャップ半分くらいに水を入れ、ストローの下側を水につける

ペットボトルのキャップ



5 半紙を乾燥させ、花の形に切る

色が広がったら、ストローをはずし、色が広がった半紙をキッチンペーパーにはさんで乾燥させる。その後、はさみで半紙を花の形に切る

実験の解説

実験操作4で、水は半紙にどんとどんとしみていきます。水と一っしょに、ペンの色も移動しながら広がっていきます。すると、インクの色は、いくつかの色に分かれます。例えば、緑色は黄色と青色に分かれます。これは、緑色のインクは黄色と青色のインクを混ぜて作られているからです。このことは、絵の具を水に溶かした黄色と青色の色水を混ぜると、緑色になることからわかります。いろいろな色のペンで実験をして、どんな色が混ざっているのか調べてみましょう！